

※インターネット「はらまち九条の会」で、「九条はらまち」の全号を見ることができます。
 ※「はらまち九条の会」は会員約400名。超党派で会員を募集中です。年会費千円。



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報

No. 115

2009(平成21)年11月15日(日)発行

実紫部
(紫式部)

＜1835年11月15日坂本龍馬の誕生日、また1867(慶応3)年同日、33歳で暗殺された日＞



○土佐藩生まれの龍馬りょうまは、江戸で北辰一刀流の剣道を学ぶ。28歳で脱藩し、江戸で勝海舟かつがいしゅうの門下に入り、海軍航海術を学んで海援隊を組織する。西郷隆盛、木戸孝允きどたかよしと薩長同盟を成立させ土佐藩から脱藩の罪を許され、海援隊も藩の公認となる。藩主山内豊信やまのうちのちよしげを動かして幕府の大政奉還を実現させる。さらに新政府の実現に向け活動中、京都の近江屋で中岡慎太郎なかおかしんたろうらとともに暗殺される。
 ○来年のNHK総合テレビの大河ドラマはこの『龍馬伝』で、またブームになりそうです。

終戦の年 女学校に入学

NHKテレビの戦後六十年企画の番組映像から聞こえた日本本土空襲の爆音が、あの日のことを思い出させた。

中村町(現在相馬市)の県立相馬女学校に入学したばかりの昭和二十年四月だった。一、二年生は少しばかりの授業と、出征兵士宅への勤労奉仕で農作業の日々だった。上級生は日の丸鉢巻も固く、学校工場となっていた校舎の二階教室で、陸軍の被服縫製作業のミシンを終日踏んでいた。

「機銃掃射で狙われる！」

ある日、低学年の生徒は離任の先生を見送るため、駅はずれの道に並んで、去りゆく列車に手を振っていた。

その直後のことである。警戒警報のサイレンが鳴り、太平洋上から轟音が近づきB29が侵入してきた。全員逃げる術もなく田圃の畦に伏せた。不気味な爆音を背中中で聞きながら「機銃掃射で狙われる！」と覚悟した。誰ひとり声も発せず、まるで金縛りにあったよう。恐ろしさで胸が痛くなった。

何機の編隊だったか定かではないが、郡山空襲に向かうため中村上空を通過した爆撃機だったという。爆音が遠ざかって、「皆無事だった！」と我に返り、



実むらさき

南相馬市原町区南町

佐藤喜代子

腑抜けたような安堵感と、その時の恐怖はいまだに心に沁み込んでいる。大都会の空襲とは比較にならない、小さな町の小さな戦争体験のひとつである。

以前、ある小冊子に載せた戦争体験の小文である。

昭和二十年四月、女学生になった私の服装は、箆しを引き当てるやつと買うことができたヘチマ衿の着と祖母の着物を仕立て直した餅がすりのモンペに下駄履きだった。

寄宿舎での乏しかった食事

忘れることのできない鯖の味。通学距離が長かったため寄宿舎に入寮。食事は炊事当番があり寮生が作った。茹でた丸大豆にご飯粒をまぶした様な主食。野生のなずなをおひたしにしたこともあった。そんな乏しい食事のなかで唯一忘れることのできないとききりの味の記憶は原金で揚げた鯖の煮付けだった。

寮の夜は灯火管制のため、電灯を黒い布で覆った薄暗い明かりと、一つの火鉢に同室の四人が煖をとり、教科書



のページを繰ったものだった。仙台空襲で北の夜空が赤く滲んだ

そんな夜、警戒警報が発令され、防空頭巾に非常袋を携行し、防空壕で一夜を明かした。夜更け、北の空が赤く滲んでいるのに気付く、何とも言えぬ不安にかられたのを覚えている。仙台が空爆を受け、炎上の夜空の明かりのようであった。

不利な戦況は庶民に伝わるには間があり、地方の小さな戦禍など報道も詳しくはなかった。おぼろ気な敗色は感じながらも、「神風」を信じ込まされていた小国民だったのである。

戦後 学校も混乱の極みだった

昭和二十年八月十五日終戦。教科書の内容が大幅に変わり、新聞紙状のザラ紙に刷られた俄作りの紙面を切り揃え、縫い糸で綴じ、教科書として使ったことも思い出される。

まさに学校も混乱の極みだった。その後、六・三・三制が実施され、私達は併設中学の三年に編入となった。高校卒業までの六年間、学舎を共にした同期生はいま喜寿を過ぎた。

戦後六十五年、遠い日の苦しい思い出を語り合う機会も少なくなった此の頃だが、戦時中のあの毎日の言いようのない不安や恐怖、生活の逼迫など再び繰り返されてはならぬこととの思いは深い。

実むらさき過去に戦さの喜寿を生く

二〇〇九、十一、十六日 喜代子

※郡山空襲は昭和20年4月12日、死者460名。原町女学校3年の動員生120名が日東紡富久山工場でのこの空襲に遭い、数名の負傷者を出しています。(本会報No.60・63「戦争体験」に掲載しました)

※仙台空襲は昭和20年7月9日～10日、死者1,066名。原町からも北の空が赤々と見えたそうです。

あい 谷川俊太郎

あい 口で言うのはかんたんだ
文字で書くのもむずかしい

あい 気持ちはいくらでも知っている
悲しいくらい好きになること

あい いつでもそばにいたいこと
いつまでもいきいてほしいと願うこと

あい それは愛ということじゃない
それは気持ちだけでもない

あい はるかな過去を忘れないこと
見えない未来を信じること

あい くりかえしくりかえし考えること
いのちをかけて生きること



直江兼続 兜



◆「あい・愛」は『広辞苑』では①親兄弟のいつくしみ合う心。広く、人間や生物への思いやり。②男女間の、相手を慕う情。恋。③かわいがること。大切にすること。(略)・⑦「仏教用語で」愛欲。愛着あいじゃく。強い欲望。⑧キリスト教で、神が自らを犠牲にして、人間をあまねく限りなくいつくしむこと(アガペー)、と多様な意味がのっています。

◆女子の名前でも「あい」は人気があり、新総理鳩山由紀夫氏も「友愛」ということばを持ち出していますが、自身の献金問題で揺れています。

◆そして、今年はNHKの大河ドラマ『天地人』の直江兼続ブームで、その兜の「愛」の文字が脚光をあびています。「愛」と「義」を掲げても国内で殺し合っていた兼続の時代から四百年、まだ地球上で戦禍は絶えません。十一月二十二日の『天地人』最終回のタイトルも「愛を掲げよ」でした。

◆また、今話題の松本清張生誕百年記念の映画『ゼロの焦点』も、その主題曲は中島みゆきの『愛だけを残せ』です。

○例年、日本漢字能力検定協会が選んだ「今年の漢字」は、今年はどうなるのか。皆さんでしたら何を選ばれますか? 「愛」などはどうでしょう?、.....

「ヘイワ」は「平和」か、「兵派」にするか?



<10月31日・郡山市
・県九条の会連絡会>
代表 吉原泰助氏
挨拶より(要点)

- ①民主党圧勝で改憲は遠のいたか。超党派の「新憲法議員同盟」(会長・中曽根康弘)に多くの民主党議員も加盟し、首相鳩山由紀夫も顧問になっている。決して安心はできない。
- ②民主党の鳩山、菅、岡田、前原、小沢など多くが「改憲志向」で、社民党のチェック機能にも限界がある。
- ③戦後、私たちは憲法によって護られてきた。今度は私たちが憲法を護る番! ○来年5月18日の国民投票法の施行の前に、決意を新たにしたい。○とにかく、私たちは戦争か平和かの岐路に立っている。「ヘイワ」を「平和」にするか? 「兵派」にするか? は私たち次第です。

(小高九条の会「紅梅九条」第7号より)

米兵の自殺者今年10月で134人

アフガン戦闘8年 心の病も増加して

11月7日付『読売新聞』は、アフガニスタンでの戦闘開始から丸8年を超え、戦争の長期化に伴い疲弊する米軍自身の悲惨な実情を次のように伝えています。

「今年の米陸軍兵士の自殺者数は既に134人(10月末)に上り、過去最悪だった昨年の140人を更新するのは必至で、兵士らの戦地派遣期間が1年から15か月に延長されたり、繰り返し派遣が原因と考えられる」と。

また心的外傷後ストレス障害(PTSD)など精神疾患も記録的に上昇。米軍兵士による殺傷事件も03年、08年、09年5月、そしてこの11月5日には軍医による銃乱射で13人死亡が大きく報道されました。

自衛隊でも昨年度の自殺者83人

同じように9月17日付『産経新聞』は、自衛隊の自殺者が20年度83人と伝えています。16～18年度が3年連続100人、19年度89人。2007年11月にはインド洋派遣隊員が16人も自殺しています。防衛省は原因を病苦・借財・家庭・職務に分類し、「精神疾患」は公表していません。「いじめ」の自殺も福岡高裁で認定されています。あまり報道されませんが、これらは異常なことです。